記 者 発 表 資 料

平成２３年度 能代河川国道事務所の事業概要について

能代河川国道事務所は、
予算額　※１０６億６，３００万円をもって
川づくり、道路づくりを通じて
県北地域の発展を支援していきます。

※１　４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなります。
※２　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載
※３　予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を記載

【予算の概要】
平成２３年度　能代河川国道事務所の予算配分額は

河川関係	１４億　１，４００万円
道路関係	９２億　４，９００万円
合　計	１０６億　６，３００万円

【主な事業の内容】
（河川）　○ 米代川河川改修事業
　　－ 河道掘削・堤防拡築等の推進

（道路）　○ 鷹巣大館道路　－ 用地買収及び改良・トンネル工事の推進
　　○ 大館西道路　－ 改良・舗装工事の推進
　　○ 日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（直轄高速区間）
　　－ 改良・トンネル工事の推進
　　○ 糠沢歩道整備　－ 工事の継続推進・完成
　　○ 陣場視距改良　－ 改良・橋梁工事の継続推進

平成２３年４月１日
国土交通省 能代河川国道事務所

発表記者会：能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　能代河川国道事務所
能代市鰄渕字一本柳９７－１
TEL.０１８５－７０－１００１(代表)
【河川関係】副所長　武田（たけだ）　節朗（せつろう）（内線204）
【道路関係】副所長　簗内（すのうち）　章也（あきや）（内線205）

平成２３年度　能代河川国道事務所の事業概要

能代河川国道事務所は

川づくり、道路づくりを通じて、県北地域の発展を支援していきます。

予算の配分額内訳（単位：百万円）

	Ｈ２２年度	Ｈ２３年度	倍率 H23/H22
河　川　関　係	１，０１０	１，４１４	１．４
道　路　関　係	８，８２９	９，２４９	１．０
能代河川国道事務所計	９，８３９	１０，６６３	１．１

※１　４月１日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなります。
※２　業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載
※３　予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を記載

１．河川事業の概要

《　米代川河川改修事業　》

昭和４７年７月や平成１９年９月の豪雨により、米代川では各地で甚大な被害を受けました。このことから、再度災害の防止を図るため、米代川における河川整備が求められています。このため、米代川本川において河道掘削を行い、流下能力の向上を図ります。

米代川河川改修事業 【ｐ４】

平成２３年度は、河道掘削（能代市）、堤防拡築（能代市）を実施します。

《　米代川河川工作物関連応急対策事業　》

河川工作物において工作物点検を実施し、変状が確認された箇所について応急対策を行います。

２．道路事業の概要

《　改築事業　》

強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保に向け、空港･港湾のカバー圏拡大、広域的な交流・連携の促進、第三次救急医療施設カバー圏の拡大、道路のネットワーク化による迂回路確保、国道７号の交通混雑緩和や交通事故削減に効果のある高規格幹線道路等の整備を進めます。

一般国道７号　鷹巣大館道路（たかのすおおだて）　（北秋田市～大館市）【ｐ５】

・北秋田市脇神（わきがみ）～北秋田市栄間（きたあきたしさかえ）　延長５．６ｋｍ

平成２３年度は用地買収及び改良工事の継続推進を図るとともに栄トンネル（延長５６２ｍ）の掘削巻立に着手します。

・北秋田市栄～大館市櫃崎（ひつざき）間　延長８．３ｋｍ

平成２３年度は改良工事の継続推進を図ります。

一般国道７号　大館西道路（おおだてにし）　（大館市）【ｐ６】

・大館市櫃崎～大館南ＩＣ間　延長２．６ｋｍ

平成２３年度の暫定２車線供用に向けて、舗装工事の継続推進を図ります。

・大館市釈迦内（しゃかない）～商人留（あきひとどめ）間　延長１．６ｋｍ

平成２３年度は、改良工事の継続推進を図ります。

《　改築事業（直轄高速）　》

日本海沿岸東北自動車道　大館北（おおだてきた）～小坂（こさか）　（大館市～鹿角郡小坂町）

延長１４ｋｍ【ｐ７】

・ 平成２３年度は、改良工事及びトンネル２箇所（大茂内第二トンネル：延長２，９８８ｍ、雪沢第一トンネル：２，５５３ｍ）の掘削巻立の継続推進を図ります。

《　交通安全対策事業　》

交通事故の多発箇所、渋滞箇所等の交通の安全を確保するために、線形の改良、交差点の改良、通学路区間の歩道設置を行います。

一般国道７号　糠沢（ぬかさわ）歩道整備　（北秋田市）　延長１．６ｋｍ【ｐ８】

平成２３年度は、工事を継続推進し完成を図ります。

一般国道７号　餅田（もちだ）交差点改良　（大館市）

平成２３年度は、工事を継続推進し完成を図ります。

一般国道７号　白沢（しらさわ）歩道整備　（大館市）　延長１．９ｋｍ

平成２３年度は、工事を継続推進します。

一般国道７号　長走（ながばしり）歩道整備　（大館市）　延長１．８ｋｍ

平成２３年度は、工事を継続推進します。

一般国道７号　長走登坂車線整備（ながばしりとはんしゃせん）　（大館市）　延長１．４ｋｍ

平成２３年度は、調査設計に着手します。

一般国道７号　陣場視距改良（じんばしきょ）　（大館市）　延長１．０ｋｍ【ｐ９】

平成２３年度は、引き続き改良・橋梁工事を継続推進します。

事業名	米代川河川改修事業（秋田県能代市）

事業着手：	完成・供用の目標年度：平成28年度以降

事業の必要性・事業の概要

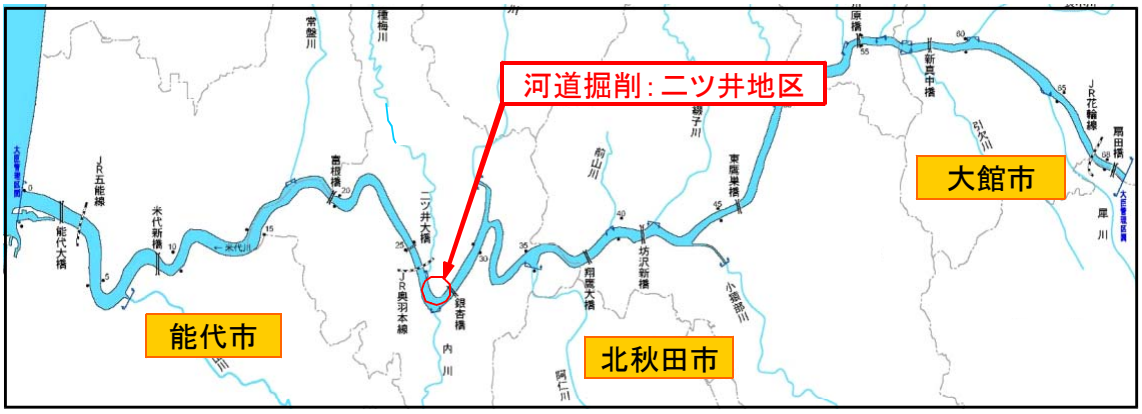


「事業の必要性」

昭和47年7月や平成19年9月の豪雨により、米代川では各地で甚大な被害を受けました。このことから、再度災害の防止を図るため、米代川における河川整備が求められています。

「事業の概要」

米代川本川において河道掘削を行い、流下能力の向上を図ります。





平成19年9月出水状況（能代市二ツ井町）



平成23年度事業費及び事業内容

○河道掘削（能代市二ツ井地区）を実施します。

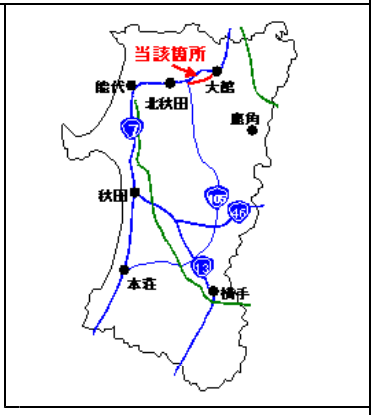
事　業　効　果

○流下能力の向上が図られ、家屋の浸水被害の軽減が図られます。

事業名	一般国道7号　鷹巣大館道路（直轄） （秋田県北秋田市～大館市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成20年代

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

鷹巣大館道路は、延長13.9kmの自動車専用道路で、平成18年度から用地買収及び工事に着手し事業を進めています。





▲北秋田市栄地区から摩当山トンネルを望む



▲大館市大子内地区から摩当山トンネルを望む

平成23年度の予定

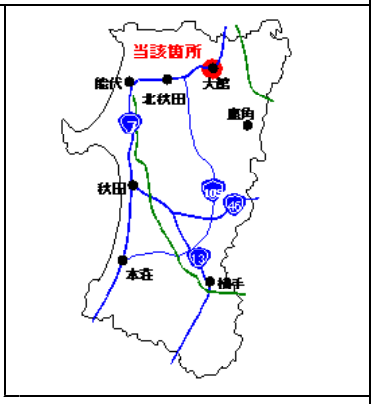
○北秋田市脇神～栄間においては用地買収及び改良工事の継続推進を図るとともに栄トンネル（延長562m）の掘削巻立に着手します。
○北秋田市栄～大館市櫃崎間においては改良工事の継続推進を図ります。

事　業　効　果

○既設道路での交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　大館西道路（直轄） （秋田県大館市）
事業着手：昭和57年度	完成・供用の目標年度：平成23年度2.6km部分暫定2車線供用 平成25年度1.6km部分暫定2車線供用

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

国道7号では大館市内をはじめとし、朝の通勤時間帯及び冬期間に渋滞が発生しています。また、三次救急医療施設の60分圏域カバー率の拡大及び、地域産業の活性化や企業誘致の拡大のため、リサイクルポート能代港及び大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

さらに、災害・事故発生時の国道7号の迂回路としての機能も持つ代替ルートも必要とされています。

「事業の概要」

大館西道路は延長8.8kmの自動車専用道路で、大館南IC～大館市釈迦内までの4.6kmについては供用済みであり、残る2区間（延長4.2km）について事業を進め、大館市櫃崎～大館南IC間（延長2.6km）については、今年度の暫定2車線供用を予定しています。





▲大館南ICから大館市櫃崎地区方向を望む



▲大館市釈迦内地区から商人留地区を望む

平成23年度の予定

○大館市櫃崎～大館南IC間においては、今年度の暫定2車線供用に向けて、舗装工事の継続推進を図ります。
○大館市釈迦内～大館市商人留間においては改良工事の継続推進を図ります。

事　業　効　果

○交通渋滞の緩和・交通事故の削減が図られます。
○能代港60分圏域及び大館能代空港30分圏域カバー率の拡大が図られます。
○三次救急医療施設（秋田市・弘前市）60分圏域カバー率の拡大が図られます。

事業名	日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（直轄高速） （秋田県大館市～鹿角郡小坂町）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成25年度

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

秋田県北地域においては、一般国道7号の交通混雑の緩和及び高速交通ネットワーク形成による県内及び北東北3県との地域間交流の促進、リサイクルポート能代港・大館能代空港とのアクセス向上が課題となっています。

「事業の概要」

日本海沿岸東北自動車道大館北～小坂は大館市と鹿角郡小坂町を結ぶ延長14kmの区間であり、延長の75％が橋梁及びトンネルとなっています。

平成16年度から新直轄方式により国土交通省で事業を進めています。





▲大館市商人留地区から釈迦トンネルを望む



▲小坂JCT（仮称）

平成23年度の予定

○改良工事及びトンネル2箇所（大茂内第二トンネル：延長2，988m、雪沢第一トンネル：延長2，553m）の掘削巻立の継続推進を図ります。

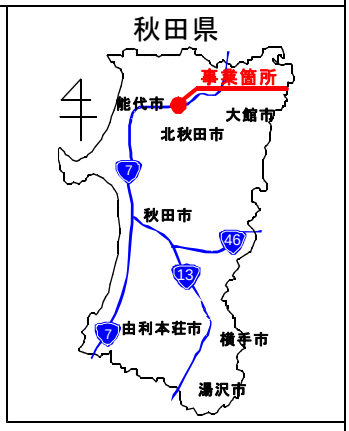
事　業　効　果

○高速交通ネットワークによる広域観光ルートが拡大します。
○エコタウン（秋田県北地域エコタウン計画）とリサイクルポート能代港の結節が強化されます。
○災害・事故発生時の迂回時間の短縮が図られます。

事業名	一般国道7号　糠沢（ぬかさわ）歩道整備（直轄） （秋田県北秋田市（きたあきた））

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成

事業の必要性・事業の概要

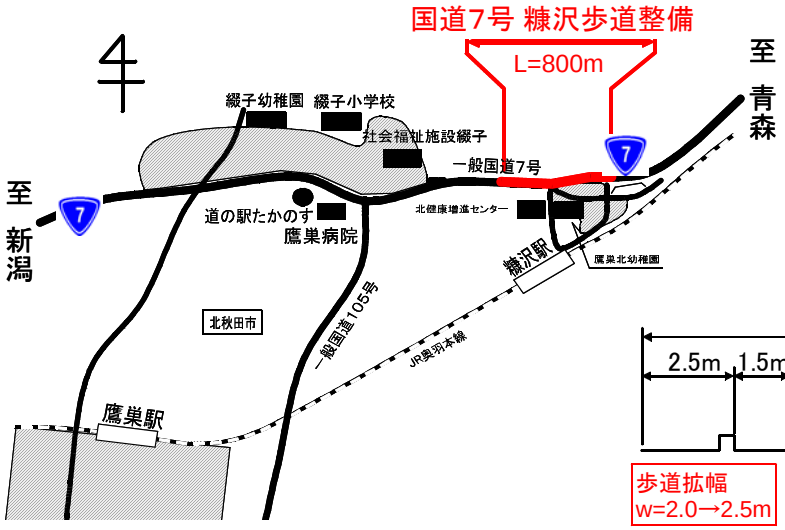


「事業の必要性」

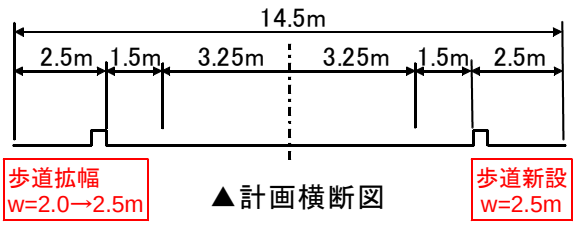
一般国道7号の北秋田市綴子の当該箇所は通学路指定区間であるが未整備及び狭隘のため、歩行者等の通行に支障をきたしています。

「事業の概要」

歩道を新設及び拡幅し、歩行者や自転車の安全確保を図ります。



▲計画位置図



▲計画横断図



▲通学時の状況



▲冬期の状況

平成23年度の予定

○平成23年度は、事業完成に向けて改良・舗装工事を実施します。

事　業　効　果

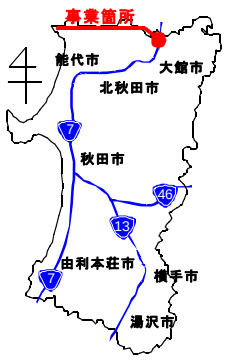
○歩行者や自転車の安全を確保します。

事業名	一般国道7号　陣場視距改良（直轄） （秋田県大館市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成24年度供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県

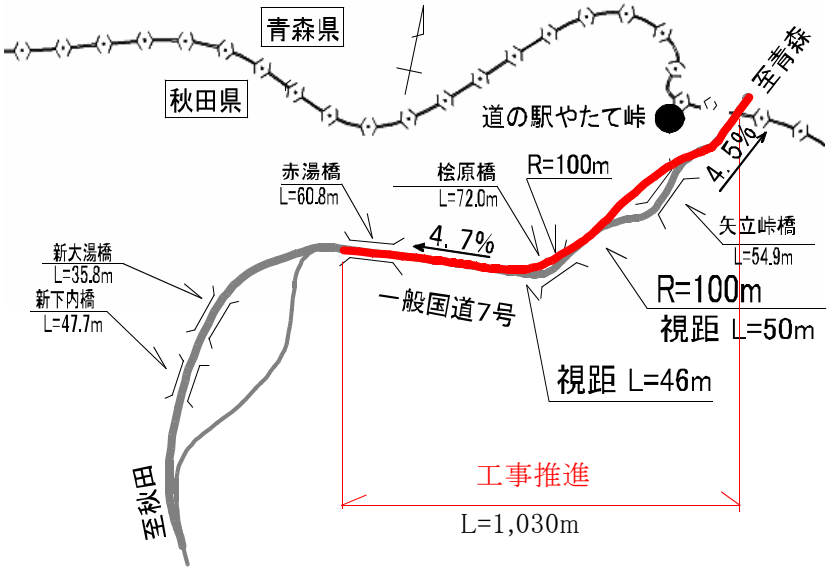


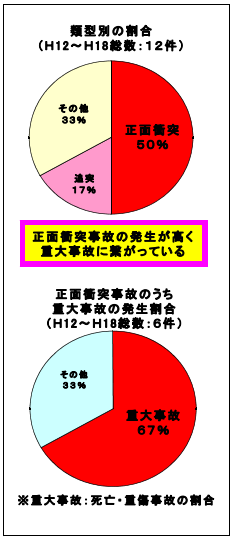
「事業の必要性」

一般国道7号の秋田県と青森県境にある矢立峠は、山地部を通過する道路で、急カーブ（Rmin=100m）、急勾配（i=4.7%）区間が連続しており、十分な視距も確保されておりません。特に、冬期の滑走による衝突事故や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められています。

「事業の概要」

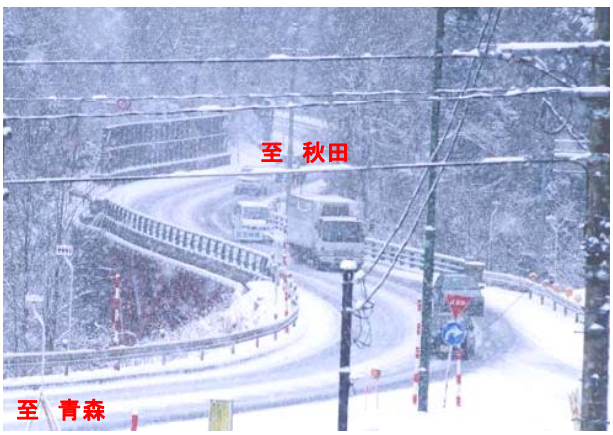
陣場視距改良は、線形改良により急カーブ、急勾配を解消し、交通事故の削減と交通の円滑化を図ります。







▲冬期交通状況



▲急カーブが連続する矢立峠

平成23年度の予定

○平成23年度は、引続き改良工事及び赤湯橋（Ⅱ期線）の橋梁工事を継続推進します。

事　業　効　果

○線形不良解消、急カーブ（Rmin=100m→200m）、急勾配（ゆずり合い車線整備）の解消により、安全性が向上し交通事故の削減が図られます。

お知らせ

平成２３年４月１日
東北地方整備局

平成23年度　東北地方整備局関係予算の配分について

○平成23年度　東北地方整備局関係予算の配分につきまして、国土交通省ホームページに掲載しましたのでお知らせします。

国土交通省ホームページアドレス
http://www.mlit.go.jp/index.html

＜記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会＞

問い合わせ

国土交通省　東北地方整備局　TEL:022-225-2171(代)

総　　括：企画部	企画課長補佐	目黒　嗣樹（内線3152）
都市・住宅関係：建政部	都市・住宅整備課長	酒井　了　（内線6161）
河　川　関　係：河川部	河川計画課長	舛田　直樹（内線3611）
道　路　関　係：道路部	道路計画第一課長	寺沢　直樹（内線4211）
港湾空港関係：港湾空港部	港湾計画課長	中嶋　義全（内線6311）
営　繕　関　係：営繕部	計画課長	頼本　欣昌（内線5151）
用　地　関　係：用地部	用地企画課長	倉田　和幸（内線4751）
会　計　関　係：総務部	会計課長	長瀬　昌宏（内線2411）